

## V 入学者選抜の実施教科・科目等

### 1. 平成24年度入試からの変更点について

主な変更点は以下のとおりです。詳細は各学部のページで確認してください。

- ①総合人間学部の個別学力検査「英語」における「聞き取りテスト」を廃止
- ②理学部の大学入試センター試験「外国語」の利用科目を変更
- ③理学部の個別学力検査「外国語」の実施科目を変更
- ④理学部の大学入試センター試験・個別学力検査の配点を変更
- ⑤理学部の成績順位の決定方法を変更（大学入試センター試験・個別学力検査の得点の合計を用いて定める）
- ⑥理学部において、個別学力検査「数学」と「理科」の得点の合計を用いて30位まで定める選抜方法を廃止
- ⑦工学部において、第1～第2志望まで学科の選択が可能となった

### 2. 教科・科目名の略称について

大学入試センター試験及び個別学力検査の教科・科目名は、以下のように略しています。

国語→国，「地理歴史，公民」→地公，世界史B→世B，日本史B→日B，現代社会→現社，倫理→倫，政治・経済→政経，「倫理，政治・経済」→「倫，政経」，地理歴史→地歴，数学→数，数学Ⅰ→数Ⅰ，数学Ⅱ→数Ⅱ，数学Ⅲ→数Ⅲ，数学A→数A，数学B→数B，数学C→数C，理科→理，外国語→外，英語→英，ドイツ語→独，フランス語→仏，中国語→中，韓国語→韓

#### 【注意】大学入試センター試験の成績利用の方法について

大学入試センター試験の「地理歴史，公民」及び「理科」について1科目が課されている場合，2科目受験者については，第1解答科目の成績を用います。

第1解答科目が学部の指定した利用教科・科目でない場合は，出願資格を無資格としますので注意してください。

# 【総合人間学部】

◇入学定員120人(募集人員 前期日程 文系65人・理系55人)

学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等				
	教科	科目名等	教科	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		論文	面接	配点合計	
文系	国	国語	国	国語総合・現代文・古典	約3.5倍	センター試験	*	50		*	100	*			150	追加合格	
	地公	世B, 日B, 地理B から1	地歴	世B, 日B, 地理B から1			個別学力検査	150	100		200		200				650
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B				計	150	150		200	100	200			
理	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰ } から1	外	英, 独, 仏, 中 から1														
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1															
		[5教科6科目]															
理系	国	国語	国	国語総合・現代文・古典	約3.5倍	センター試験	*	100		*	*	*			100		
	地公	世B, 日B, 地理B から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C			個別学力検査	150			200	200	150				700
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	理	物理, 化学, 生物, 地学 } から2				計	150	100		200	200	150			
理	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰ } から2	外	英, 独, 仏, 中 から1														
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1																
		[5教科7科目]															

## 1. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」についての注意事項

- 「地理歴史, 公民」及び「理科」について1科目が課されている場合, 2科目受験者については, 第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については, 以下のとおり利用します。  
英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用します。  
リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。  
なお, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行います。

## 2. 「個別学力検査等」についての注意事項

- 「地理歴史」について  
大学入試センター試験で受験した科目以外の科目から選択してください。ただし, 世界史B, 日本史B, 地理Bから2科目を受験したときは, 第1解答科目以外の科目から選択してください。
- 「数学」について
  - 個別学力検査実施科目  
文系: 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学A」, 「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。  
理系: 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」, 「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。  
[選択分野及び出題範囲に対する注意]  
① 「数学Ⅱ」の「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととし, 立体の体積も含まれます。  
② 「数学B」では「数列」「ベクトル」「数値計算とコンピュータ」の3分野を出題範囲とします。ただし, 「ベクトル」は直線・平面の方程式を含むものとし, 「数値計算とコンピュータ」はプログラミングを除きます。

- ③ 文系の「数学A」の‘場合の数と確率’は条件つき確率なども含むものとします。その内容は「数学C」「確率分布」の‘確率の計算’程度とします。
- ④ 理系の「数学C」では「行列とその応用」「式と曲線」「確率分布」の3分野を出題範囲とします。ただし、「確率分布」は‘確率の計算’のみを範囲とします。
- ⑤ 「数学Ⅲ」は、簡単な微分方程式及び曲線の長さを含みます。

(2) 補足説明

- ① 教科書において「発展」等として扱われている内容であっても、指導要領の趣旨を踏まえて高等学校の生徒が論理的に思考して理解できる程度の内容は、出題範囲とします。
- ② 上記①の発展的内容、「数学Ⅱ」の微分・積分で出題範囲とする一般の多項式や体積の内容、「数学Ⅲ」で出題範囲とする微分方程式と曲線の長さの内容、及び「数学B」のベクトルで出題範囲とする直線・平面の方程式の内容に関しては、旧指導要領及び過去の指導要領(昭和57年度から平成5年度)の内容が目安となります。

3. 「理科」について

(1) 物理: 「物理Ⅰ」と「物理Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「物理Ⅱ」の第3部後半(原子・電子と物質)と第4部(原子構造と原子核・素粒子)において扱われている現代物理の諸項目については、現代物理の個々の事象の単なる知識を問う出題はしませんが、それらの事象を素材にして物理の基本的法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないように出題方法などに配慮します。

(2) 化学: 「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「化学Ⅱ」の第2部(生活と物質)と第3部(生命と物質)において扱われている諸項目については、単に知識を問う出題はしませんが、それらを素材にして化学の基本法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないように出題方法などに配慮します。

(3) 生物: 「生物Ⅰ」と「生物Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「生物Ⅱ」で扱われている内容については、出題の素材として用いることはありますが、単に知識を問うのではなく、基本的概念の理解や、生物学特有のものの見方、考え方を問うような出題をします。

(4) 地学: 「地学Ⅰ」と「地学Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「地学Ⅱ」で扱われている内容については、単に知識を問う出題はしませんが、それらを素材にして地学特有のもの見方、考え方を問うような出題はあり得ます。

4. 「外国語」について

英語は「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラルコミュニケーションⅠ」、「オーラルコミュニケーションⅡ」、「リーディング」、「ライティング」の6科目を併せて「英語」として出題します。

5. 2段階選抜について

入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分の大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点(ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

**3. 「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」についての注意事項**

大学入試センター試験で課す5教科のうち\*印の付いた教科の得点は、他の教科と併せて第1段階選抜のための得点対象となりますが、学力検査等の得点対象としません。

# 【文学部】

◇入学定員220人(募集人員 前期日程 220人)

大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									その他の選抜方法等	
教科	科目名等	教科	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	論文	面接		配点合計
国	国語	国	国語総合・現代文・古典	約 3.5倍	センター試験	50	50		50	50	50			250	追加合格
地公	世B, 日B, 地理B から1	地歴	世B, 日B, 地理B から1		個別学力検査	150	100		100		150			500	
数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B		計	200	150		150	50	200			750	
理	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, } から1 生物Ⅰ, 地学Ⅰ }	外	英, 独, 仏, 中 から1												
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1														
[5教科6科目]															

## 1. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」についての注意事項

- 「地理歴史, 公民」及び「理科」について, 2科目を受験したときは, 第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については, 以下のとおり利用します。  
英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。  
リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。  
なお, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

## 2. 「個別学力検査等」についての注意事項

- 「地理歴史」について  
大学入試センター試験で受験した科目以外の科目から選択してください。ただし, 世界史B, 日本史B, 地理Bから2科目を受験したときは, 第1解答科目以外の科目から選択してください。
- 「数学」について
  - 個別学力検査実施科目  
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学A」, 「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。  
[選択分野及び出題範囲に対する注意]  
①「数学Ⅱ」の「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととし, 立体の体積も含みます。  
②「数学B」では「数列」「ベクトル」「数値計算とコンピュータ」の3分野を出題範囲とします。ただし, 「ベクトル」は直線・平面の方程式を含むものとし, 「数値計算とコンピュータ」はプログラミングを除きます。  
③「数学A」の「場合の数と確率」は条件つき確率なども含むものとします。その内容は「数学C」「確率分布」の「確率の計算」程度とします。
  - 補足説明  
①教科書において「発展」等として扱われている内容であっても, 指導要領の趣旨を踏まえて高等学校の生徒が論理的に思考して理解できる程度の内容は, 出題範囲とします。  
②上記①の発展的内容, 「数学Ⅱ」の微分・積分で出題範囲とする一般の多項式や体積の内容及び「数学B」のベクトルで出題範囲とする直線・平面の方程式の内容に関しては, 旧指導要領及び過去の指導要領(昭和57年度から平成5年度)の内容が目安となります。

### 3. 「外国語」について

英語は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラルコミュニケーションⅠ」、「オーラルコミュニケーションⅡ」、「リーディング」、「ライティング」の6科目を併せて「英語」として出題します。

### 4. 2段階選抜について

入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

# 【教育学部】

◇入学定員60人(募集人員 前期日程 文系50人・理系10人)

学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等	
	教科	科目名等	教科	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	論文		面接
文系	国	国語	国	国語総合・現代文・古典	約3.5倍	センター試験	50	50	50	50	50	50			250
	地公	世B, 日B, 地理B, 「倫, 政経」 } から2	地歴	世B, 日B, 地理B から1											
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B											
理	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰ } から1	外	英, 独, 仏, 中 から1	計	250	150		200	50	250				900	
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5教科7科目]または[6教科7科目]														
理系	国	国語	国	国語総合・現代文・古典	約3.5倍	センター試験	50	50	50	50	50	50			250
	地公	世B, 日B, 地理B, 「倫, 政経」 } から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C											
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	理	物理, 化学, 生物, 地学 } から1											
理	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰ } から2	外	英, 独, 仏, 中 から1	計	200	50		250	150	250				900	
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5教科7科目]														

## 1. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」についての注意事項

- 「地理歴史, 公民」及び「理科」について1科目が課されている場合, 2科目受験者については, 第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については, 以下のとおり利用します。  
英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。  
リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。  
なお, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

## 2. 「個別学力検査等」についての注意事項

- 「地理歴史」について  
大学入試センター試験と同じ科目を選択することができます。
- 「数学」について  
(1)個別学力検査実施科目  
文系: 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学A」, 「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。  
理系: 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」, 「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。

[選択分野及び出題範囲に対する注意]

- ① 「数学Ⅱ」の「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととし、立体の体積も含まれます。
- ② 「数学B」では「数列」「ベクトル」「数値計算とコンピュータ」の3分野を出題範囲とします。ただし、「ベクトル」は直線・平面の方程式を含むものとし、「数値計算とコンピュータ」はプログラミングを除きます。
- ③ 文系の「数学A」の「場合の数と確率」は条件つき確率なども含むものとします。その内容は「数学C」「確率分布」の「確率の計算」程度とします。
- ④ 理系の「数学C」では「行列とその応用」「式と曲線」「確率分布」の3分野を出題範囲とします。ただし、「確率分布」は「確率の計算」のみを範囲とします。
- ⑤ 「数学Ⅲ」は、簡単な微分方程式及び曲線の長さを含みます。

(2) 補足説明

- ① 教科書において「発展」等として扱われている内容であっても、指導要領の趣旨を踏まえて高等学校の生徒が論理的に思考して理解できる程度の内容は、出題範囲とします。
- ② 上記①の発展的内容、「数学Ⅱ」の微分・積分で出題範囲とする一般の多項式や体積の内容、「数学Ⅲ」で出題範囲とする微分方程式と曲線の長さの内容、及び「数学B」のベクトルで出題範囲とする直線・平面の方程式の内容に関しては、旧指導要領及び過去の指導要領(昭和57年度から平成5年度)の内容が目安となります。

3. 「理科」について

(1) 物理: 「物理Ⅰ」と「物理Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「物理Ⅱ」の第3部後半(原子・電子と物質)と第4部(原子構造と原子核・素粒子)において扱われている現代物理の諸項目については、現代物理の個々の事象の単なる知識を問う出題はしませんが、それらの事象を素材にして物理の基本的法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

(2) 化学: 「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「化学Ⅱ」の第2部(生活と物質)と第3部(生命と物質)において扱われている諸項目については、単に知識を問う出題はしませんが、それらを素材にして化学の基本法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

(3) 生物: 「生物Ⅰ」と「生物Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「生物Ⅱ」で扱われている内容については、出題の素材として用いることはありますが、単に知識を問うのではなく、基本的概念の理解や、生物学特有のものの方の見方、考え方を問うような出題をします。

(4) 地学: 「地学Ⅰ」と「地学Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「地学Ⅱ」で扱われている内容については、単に知識を問う出題はしませんが、それらを素材にして地学特有のものの方の見方、考え方を問うような出題はあり得ます。

4. 「外国語」について

英語は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラルコミュニケーションⅠ」、「オーラルコミュニケーションⅡ」、「リーディング」、「ライティング」の6科目を併せて「英語」として出題します。

5. 2段階選抜について

入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分の大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点(ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

# 【法学部】

◇入学定員330人(募集人員 前期日程330人 外国学校出身者のための選考入学者10人以内を含む。)

大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									その他の選抜方法等	
教科	科目名等	教科	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	論文	面接		配点合計
国	国語	国	国語総合・現代文・古典	約 3.5倍	センター試験	50	50		50	50	50			250	外国学校 出身者  追加合格
地公	世B, 日B, 地理B から1	地歴	世B, 日B, 地理B から1		個別学力検査	150	50		150		150			500	
数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B		計	200	100		200	50	200			750	
理	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, } から1 生物Ⅰ, 地学Ⅰ }	外	英, 独, 仏, 中 から1												
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1														
[5教科6科目]															

## 1. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」についての注意事項

- 「地理歴史, 公民」及び「理科」について, 2科目を受験したときは, 第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については, 以下のとおり利用します。  
英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。  
リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。  
なお, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

## 2. 「個別学力検査等」についての注意事項

- 「地理歴史」について  
大学入試センター試験で受験した科目以外の科目から選択してください。ただし, 世界史B, 日本史B, 地理Bから2科目を受験したときは, 第1解答科目以外の科目から選択してください。
- 「数学」について
  - 個別学力検査実施科目  
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学A」, 「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。  
[選択分野及び出題範囲に対する注意]  
① 「数学Ⅱ」の「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととし, 立体の体積も含みます。  
② 「数学B」では「数列」「ベクトル」「数値計算とコンピュータ」の3分野を出題範囲とします。ただし, 「ベクトル」は直線・平面の方程式を含むものとし, 「数値計算とコンピュータ」はプログラミングを除きます。  
③ 「数学A」の「場合の数と確率」は条件つき確率なども含むものとします。その内容は「数学C」「確率分布」の「確率の計算」程度とします。
  - 補足説明  
① 教科書において「発展」等として扱われている内容であっても, 指導要領の趣旨を踏まえて高等学校の生徒が論理的に思考して理解できる程度の内容は, 出題範囲とします。  
② 上記①の発展的内容, 「数学Ⅱ」の微分・積分で出題範囲とする一般の多項式や体積の内容及び「数学B」のベクトルで出題範囲とする直線・平面の方程式の内容に関しては, 旧指導要領及び過去の指導要領(昭和57年度から平成5年度)の内容が目安となります。



### 3. 「外国語」について

英語は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラルコミュニケーションⅠ」、「オーラルコミュニケーションⅡ」、「リーディング」、「ライティング」の6科目を併せて「英語」として出題します。

### 4. 2段階選抜について

入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点(ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

# 【経済学部】

◇入学定員240人(募集人員 前期日程 一般190人, 論文25人, 理系25人, その他若干名)

※「一般」は外国学校出身者のための選考入学者10人以内を含む。

学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等		
	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	論文		面接	配点合計
一般	国 地公 数	国語 世B, 日B, 地理B, 「倫, 政経」 } から1 又は2 } から2 現社, 倫, 政経 から1まで	国	国語総合・現代文・古典	約 3.5倍	センター試験	50	50		50	50	50			250	外国学校出身者
			地歴	世B, 日B, 地理Bから1		個別学力検査	150	100		150		150			550	外国人
			教 外	数 I・数 II・数 A・数 B 英, 独, 仏, 中 から1		計	200	150		200	50	200			800	追加合格
論文	理 外	物理 I, 化学 I, } から1 生物 I, 地学 I } 英, 独, 仏, 中, 韓 から1  [5教科7科目]または[6教科7科目]	国	国語総合・現代文・古典	約 3.5倍	センター試験	*	50		*	*	*			50	
			外	英, 独, 仏, 中 から1		個別学力検査	100					150	300	550		
			その他	論文		計	100	50			150	300	600			
理系	国 地公 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B, } から1 「倫, 政経」 } 「数 I・数 A」, 「数 II・数 B」 物理 I, 化学 I, } から1 生物 I, 地学 I } 英, 独, 仏, 中, 韓 から1  [5教科6科目]	国	国語総合・現代文・古典	約 3.5倍	センター試験	50	50		50	50	50			250	
			教 外	数 I・数 II・数 III・数 A・数 B・数 C 英, 独, 仏, 中 から1		個別学力検査	150			300		200		650		
			計	200		50		350	50	250		900				

## 1. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」についての注意事項

- 「地理歴史, 公民」及び「理科」について1科目が課されている場合, 2科目受験者については, 第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については, 以下のとおり利用します。  
英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。  
リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。  
なお, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

## 2. 「個別学力検査等」についての注意事項

### 1. 「地理歴史」について

「一般」において、大学入試センター試験と同じ科目を選択することができます。

### 2. 「数学」について

#### (1) 個別学力検査実施科目

一般: 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学A」, 「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。

理系: 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」, 「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。

#### [選択分野及び出題範囲に対する注意]

- ① 「数学Ⅱ」の「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととし、立体の体積も含まれます。
- ② 「数学B」では「数列」「ベクトル」「数値計算とコンピュータ」の3分野を出題範囲とします。ただし、「ベクトル」は直線・平面の方程式を含むものとし、「数値計算とコンピュータ」はプログラミングを除きます。
- ③ 一般の「数学A」の「場合の数と確率」は条件つき確率なども含むものとし、その内容は「数学C」「確率分布」の「確率の計算」程度とします。
- ④ 理系の「数学C」では「行列とその応用」「式と曲線」「確率分布」の3分野を出題範囲とします。ただし、「確率分布」は「確率の計算」のみを範囲とします。
- ⑤ 「数学Ⅲ」は、簡単な微分方程式及び曲線の長さを含みます。

#### (2) 補足説明

- ① 教科書において「発展」等として扱われている内容であっても、指導要領の趣旨を踏まえて高等学校の生徒が論理的に思考して理解できる程度の内容は、出題範囲とします。
- ② 上記①の発展的内容、「数学Ⅱ」の微分・積分で出題範囲とする一般の多項式や体積の内容、「数学Ⅲ」で出題範囲とする微分方程式と曲線の長さの内容、及び「数学B」のベクトルで出題範囲とする直線・平面の方程式の内容に関しては、旧指導要領及び過去の指導要領(昭和57年度から平成5年度)の内容が目安となります。

### 3. 「論文」について

論文試験においては、総合的な学力とともに自学自習(自分自身の思考力によって状況の分析、課題の発見と解決、総合的な判断などを行うこと)の能力を有する学生を選抜します。そのため、かなりの程度のまとまりをもつ文章や資料を与え、その内容を正確に読みとって設問に答えたり、根拠のある推論、本人自身の読解力と知見に基づいた論評を加えたりすることを求めます。題材としては、現代の文章や資料だけでなく、内外の古典的文献からとったものも含まれます。

### 4. 「外国語」について

英語は、「英語Ⅰ」, 「英語Ⅱ」, 「オーラルコミュニケーションⅠ」, 「オーラルコミュニケーションⅡ」, 「リーディング」, 「ライティング」の6科目を併せて「英語」として出題します。

### 5. 2段階選抜について

入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分の大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点(ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

## 3. 「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」についての注意事項

大学入試センター試験で課す\*印の付いた教科の得点は、第1段階選抜のための得点対象としますが、学力検査等の得点対象としません。

# 【理 学 部】

◇入学定員311人(募集人員 前期日程 311人)

大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等		
教科	科目名等	教科	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	論文		面接	配点合計
国 地公 数 理 外	国語	国 数 理 外	国語総合・現代文・古典	センター試験の得点が630点以上【次頁4.参照のこと】	センター試験	50	25		50	50	50			225	追加合格
	世B, 日B, 地理B, 「倫, 政経」 } から1 「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」		数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C		個別学力検査	150			300	300	225			975	
	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰ } から2 英		物理, 化学, 生物, 地学 } から2 英		計	200	25	350	350	275			1200		
[5教科7科目]															

## 1. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」についての注意事項

- 「地理歴史, 公民」について, 2科目を受験したときは, 第1段階選抜において, 第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については, 以下のとおり利用します。  
英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。  
リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。  
なお, リスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

## 2. 「個別学力検査等」についての注意事項

### 1. 「数学」について

#### (1) 個別学力検査実施科目

「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」, 「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。

[選択分野及び出題範囲に対する注意]

- 「数学Ⅱ」の「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととし, 立体の体積も含みます。
- 「数学B」では「数列」「ベクトル」「数値計算とコンピュータ」の3分野を出題範囲とします。ただし, 「ベクトル」は直線・平面の方程式を含むものとし, 「数値計算とコンピュータ」はプログラミングを除きます。
- 「数学C」では「行列とその応用」「式と曲線」「確率分布」の3分野を出題範囲とします。ただし, 「確率分布」は「確率の計算」のみを範囲とします。
- 「数学Ⅲ」は, 簡単な微分方程式及び曲線の長さを含みます。

#### (2) 補足説明

- 教科書において「発展」等として扱われている内容であっても, 指導要領の趣旨を踏まえて高等学校の生徒が論理的に思考して理解できる程度の内容は, 出題範囲とします。
- 上記①の発展的内容, 「数学Ⅱ」の微分・積分で出題範囲とする一般の多項式や体積の内容, 「数学Ⅲ」で出題範囲とする微分方程式と曲線の長さの内容, 及び「数学B」のベクトルで出題範囲とする直線・平面の方程式の内容に関しては, 旧指導要領及び過去の指導要領(昭和57年度から平成5年度)の内容が目安となります。

## 2. 「理科」について

(1) 物理: 「物理Ⅰ」と「物理Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「物理Ⅱ」の第3部後半(原子・電子と物質)と第4部(原子構造と原子核・素粒子)において扱われている現代物理の諸項目については、現代物理の個々の事象の単なる知識を問う出題はしませんが、それらの事象を素材にして物理の基本的法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

(2) 化学: 「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「化学Ⅱ」の第2部(生活と物質)と第3部(生命と物質)において扱われている諸項目については、単に知識を問う出題はしませんが、それらを素材にして化学の基本法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

(3) 生物: 「生物Ⅰ」と「生物Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「生物Ⅱ」で扱われている内容については、出題の素材として用いることはありますが、単に知識を問うのではなく、基本的概念の理解や、生物学特有のものものの見方、考え方を問うような出題をします。

(4) 地学: 「地学Ⅰ」と「地学Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「地学Ⅱ」で扱われている内容については、単に知識を問う出題はしませんが、それらを素材にして地学特有のものものの見方、考え方を問うような出題はあり得ます。

## 3. 「外国語」について

英語は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラルコミュニケーションⅠ」、「オーラルコミュニケーションⅡ」、「リーディング」、「ライティング」の6科目を併せて「英語」として出題します。

## 4. 2段階選抜について

利用する大学入試センター試験5教科7科目の得点(ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)の合計が900点満点中630点以上の者を第1段階選抜合格者とします。

# 【医学部】

◇入学定員250人(募集人員 前期日程 医学科107人, 人間健康科学科 看護学専攻70人, 検査技術科学専攻37人, 理学療法学専攻18人, 作業療法学専攻18人)

学科名等	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等		
	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	論文		面接	配点合計
医学科	国	国語	国	国語総合・現代文・古典	次頁5.参照のこと	センター試験	50	50		50	50	50			250	追加合格
	地公	世B, 日B, 地理B から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C		個別学力検査	150			250	300	300		50	1050	
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	理	物理, 化学, 生物 から2 (次頁2.(1)参照)		計	200	50		300	350	350		50	1300	
	理	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ から2	外	英, 独, 仏, 中 から1												
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1	その他	面接												
		[5教科7科目]														
人間健康科学科	看護学専攻	国	国語	国	国語総合・現代文・古典	センター試験	100	100		100	100	100			500	追加合格
		地公	世B, 日B, 地理B, 「倫, 政経」 から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C	個別学力検査	100			200	200	200		700		
	検査技術科学専攻	理	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰ から2	外	英, 独, 仏, 中 から1	計	200	100		300	300	300		1200		
		外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1	[5教科7科目]												
理学療法学専攻			国	国語総合・現代文・古典	センター試験	100	100		100	100	100			500	追加合格	
作業療法学専攻			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C	個別学力検査	100			200	200	200		700			
			理	物理, 化学, 生物 から2	計	200	100		300	300	300		1200			
			外	英, 独, 仏, 中 から1												

## 1. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」についての注意事項

- 「地理歴史, 公民」について, 2科目を受験したときは, 第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については, 全学科において利用します。  
英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。  
リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。  
なお, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

## 2. 「個別学力検査等」についての注意事項

- 「数学」について
  - 個別学力検査実施科目  
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」, 「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。  
[選択分野及び出題範囲に対する注意]  
①「数学Ⅱ」の「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととし, 立体の体積も含まれます。

- ②「数学B」では「数列」「ベクトル」「数値計算とコンピュータ」の3分野を出題範囲とします。ただし、「ベクトル」は直線・平面の方程式を含むものとし、「数値計算とコンピュータ」はプログラミングを除きます。
- ③「数学C」では「行列とその応用」「式と曲線」「確率分布」の3分野を出題範囲とします。ただし、「確率分布」は「確率の計算」のみを範囲とします。
- ④「数学Ⅲ」は、簡単な微分方程式及び曲線の長さを含みます。

## (2) 補足説明

- ① 教科書において「発展」等として扱われている内容であっても、指導要領の趣旨を踏まえて高等学校の生徒が論理的に思考して理解できる程度の内容は、出題範囲とします。
- ② 上記①の発展的内容、「数学Ⅱ」の微分・積分で出題範囲とする一般の多項式や体積の内容、「数学Ⅲ」で出題範囲とする微分方程式と曲線の長さの内容、及び「数学B」のベクトルで出題範囲とする直線・平面の方程式の内容に関しては、旧指導要領及び過去の指導要領(昭和57年度から平成5年度)の内容が目安となります。

## 2. 「理科」について

- (1) 医学科においては、大学入試センター試験で受験しなかった科目を含めて2科目選択してください。

- (2) 物理:「物理Ⅰ」と「物理Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「物理Ⅱ」の第3部後半(原子・電子と物質)と第4部(原子構造と原子核・素粒子)において扱われている現代物理の諸項目については、現代物理の個々の事象の単なる知識を問う出題はしませんが、それらの事象を素材にして物理の基本的法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

- (3) 化学:「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「化学Ⅱ」の第2部(生活と物質)と第3部(生命と物質)において扱われている諸項目については、単に知識を問う出題はしませんが、それらを素材にして化学の基本法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

- (4) 生物:「生物Ⅰ」と「生物Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「生物Ⅱ」で扱われている内容については、出題の素材として用いることはありますが、単に知識を問うのではなく、基本的概念の理解や、生物学特有のものの見方、考え方を問うような出題をします。

## 3. 「外国語」について

英語は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラルコミュニケーションⅠ」、「オーラルコミュニケーションⅡ」、「リーディング」、「ライティング」の6科目を併せて「英語」として出題します。

## 4. 「面接」について

医学科:医師、医学研究者としての適性を評価します。

注記:「医学部が望む学生像」(【学部・学科紹介】参照)に記載されている医師・医学研究者としての適性・人間性などについて面接と調査書で評価を行い、学科試験の成績と総合して合格を判定します。

従って、学科試験の成績の如何にかかわらず不合格となることがあります。

調査書は、面接の参考資料とする他に合否判定の評価対象にします。この際、調査書の特記事項の内容を重視します。

高等学校卒業後5年以上で調査書の記載がないもの、記載内容が不明確なもの、あるいは、疑義のあるものなどは、卒業学校などから別途指定した書類の提出を求めます。

また、面接の参考資料とするため、個別学力検査受験者全員から、履歴書・志望理由などを記載した書類(本学科所定用紙)の提出を求めます。

## 5. 2段階選抜について

- (1) 医学科は、利用する大学入試センター試験5教科7科目の得点(ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)の合計が900点満点中630点以上の者のうちから、募集人員の約3倍までの者を総得点の順位に従って第1段階選抜の合格者としてします。

- (2) 人間健康科学科は、入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分の大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点(ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

# 【薬学部】

◇入学定員80人(募集人員 前期日程 薬科学科50人・その他若干名, 薬学科30人)

学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等			
	教科	科目名等	教科	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		論文	面接	配点合計
薬科学科	国	国語	国	国語総合・現代文・古典	各学科ごとの募集人員の約3.5倍	センター試験	50	50		50	50	50			250	外国人(薬科学科のみ) 追加合格
	地公	世B, 日B, 地理B, 「倫, 政経」	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C		個別学力検査	100			200	200	200			700	
	教	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	理	物理, 化学, 生物 から2		外	英, 独, 仏, 中 から1									
薬学科	理	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰ				計	150	50		250	250	250			950	
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1														
		[5教科7科目]														

## 1. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」についての注意事項

- 「地理歴史, 公民」について, 2科目を受験したときは, 第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については, 全学科において利用します。  
英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。  
リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。  
なお, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

## 2. 「個別学力検査等」についての注意事項

- 「数学」について
  - 個別学力検査実施科目  
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」, 「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。  
[選択分野及び出題範囲に対する注意]  
① 「数学Ⅱ」の「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととし, 立体の体積も含まれます。  
② 「数学B」では「数列」「ベクトル」「数値計算とコンピュータ」の3分野を出題範囲とします。ただし, 「ベクトル」は直線・平面の方程式を含むものとし, 「数値計算とコンピュータ」はプログラミングを除きます。  
③ 「数学C」では「行列とその応用」「式と曲線」「確率分布」の3分野を出題範囲とします。ただし, 「確率分布」は「確率の計算」のみを範囲とします。  
④ 「数学Ⅲ」は, 簡単な微分方程式及び曲線の長さを含みます。
  - 補足説明  
① 教科書において「発展」等として扱われている内容であっても, 指導要領の趣旨を踏まえて高等学校の生徒が論理的に思考して理解できる程度の内容は, 出題範囲とします。  
② 上記①の発展的内容, 「数学Ⅱ」の微分・積分で出題範囲とする一般の多項式や体積の内容, 「数学Ⅲ」で出題範囲とする微分方程式と曲線の長さの内容, 及び「数学B」のベクトルで出題範囲とする直線・平面の方程式の内容に関しては, 旧指導要領及び過去の指導要領(昭和57年度から平成5年度)の内容が目安となります。



## 2. 「理科」について

(1) 物理: 「物理Ⅰ」と「物理Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「物理Ⅱ」の第3部後半(原子・電子と物質)と第4部(原子構造と原子核・素粒子)において扱われている現代物理の諸項目については、現代物理の個々の事象の単なる知識を問う出題はしませんが、それらの事象を素材にして物理の基本的法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

(2) 化学: 「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「化学Ⅱ」の第2部(生活と物質)と第3部(生命と物質)において扱われている諸項目については、単に知識を問う出題はしませんが、それらを素材にして化学の基本法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

(3) 生物: 「生物Ⅰ」と「生物Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「生物Ⅱ」で扱われている内容については、出題の素材として用いることはありますが、単に知識を問うのではなく、基本的概念の理解や、生物学特有のものの見方、考え方を問うような出題をします。

## 3. 「外国語」について

英語は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラルコミュニケーションⅠ」、「オーラルコミュニケーションⅡ」、「リーディング」、「ライティング」の6科目を併せて「英語」として出題します。

## 4. 2段階選抜について

入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分の大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点(ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

# 【工学部】

◇入学定員955人(募集人員 前期日程 地球工学科185人, 建築学科80人, 物理工学科235人, 電気電子工学科130人, 情報学科90人, 工業化学科235人, その他若干名)

※地球工学科は, 外国人留学生を対象とした国際コースのための選考入学者30人以内を含む。

学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等		
	教科	科目名等	教科	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	論文		面接	配点合計
全 学 科	国	国語	国	国語総合・現代文・古典	学部 募集 人員 の約 3.0倍	センター試験	50	100		*	*	50			200	外国人
	地公	世B, 日B, 地理B, 「倫, 政経」	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C		個別学力検査	100			250	250	200			800	国際 コース
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	理	物理 化学		計	150	100		250	250	250			1000	追加合格
	理	物理Ⅰ 化学Ⅰ, 生物Ⅰ から1	外	英												
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1  [5教科7科目]															

## 1. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」についての注意事項

1. 「地理歴史, 公民」について, 2科目を受験したときは, 第1解答科目の成績を用います。

2. 英語のリスニングの成績については, 全学科において利用します。

英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。

なお, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

## 2. 「個別学力検査等」についての注意事項

1. 「数学」について

(1) 個別学力検査実施科目

「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」, 「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。

[選択分野及び出題範囲に対する注意]

① 「数学Ⅱ」の「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととし, 立体の体積も含まれます。

② 「数学B」では「数列」「ベクトル」「数値計算とコンピュータ」の3分野を出題範囲とします。ただし, 「ベクトル」は直線・平面の方程式を含むものとし, 「数値計算とコンピュータ」はプログラミングを除きます。

③ 「数学C」では「行列とその応用」「式と曲線」「確率分布」の3分野を出題範囲とします。ただし, 「確率分布」は「確率の計算」のみを範囲とします。

④ 「数学Ⅲ」は, 簡単な微分方程式及び曲線の長さを含みます。

(2) 補足説明

① 教科書において「発展」等として扱われている内容であっても, 指導要領の趣旨を踏まえて高等学校の生徒が論理的に思考して理解できる程度の内容は, 出題範囲とします。

② 上記①の発展的内容, 「数学Ⅱ」の微分・積分で出題範囲とする一般の多項式や体積の内容, 「数学Ⅲ」で出題範囲とする微分方程式と曲線の長さの内容, 及び「数学B」のベクトルで出題範囲とする直線・平面の方程式の内容に関しては, 旧指導要領及び過去の指導要領(昭和57年度から平成5年度)の内容が目安となります。

## 2. 「理科」について

(1) 物理: 「物理Ⅰ」と「物理Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「物理Ⅱ」の第3部後半(原子・電子と物質)と第4部(原子構造と原子核・素粒子)において扱われている現代物理の諸項目については、現代物理の個々の事象の単なる知識を問う出題はしませんが、それらの事象を素材にして物理の基本的法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

(2) 化学: 「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「化学Ⅱ」の第2部(生活と物質)と第3部(生命と物質)において扱われている諸項目については、単に知識を問う出題はしませんが、それらを素材にして化学の基本法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

## 3. 「外国語」について

英語は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラルコミュニケーションⅠ」、「オーラルコミュニケーションⅡ」、「リーディング」、「ライティング」の6科目を併せて「英語」として出題します。

## 4. 2段階選抜について

工学部全体の志願者が工学部募集人員の約3.0倍を上回った場合、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点(ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)の合計により、工学部全体の志願者で第1段階選抜を行うことがあります。

## 5. その他

第1～第2志望まで学科を選択することができます。

## 3. 「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」についての注意事項

大学入試センター試験で課す5教科のうち\*印の付いた教科の得点は、他の教科と併せて第1段階選抜のための得点対象としますが、学力検査等の得点対象としません。

# 【農学部】

◇入学定員300人(募集人員 前期日程 資源生物科学科94人, 応用生命科学科47人, 地域環境工学科37人, 食料・環境経済学科32人, 森林科学科57人, 食品生物科学科33人, その他若干名)

大学入試センター試験の利用教科・科目名	個別学力検査等				大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等			
	教科	科目名等	教科	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		論文	面接	配点合計
全 学 科 共 通	国	国語	国	国語総合・現代文・古典	学部 募集 人員 の約 3.5倍	センター試験	100	100		50	50	50			350	外国人
	地公	世B, 日B, 地理B, 「倫, 政経」	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C		個別学力検査	100			200	200	200			700	
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」	理	物理, 化学, 生物, 地学		計	200	100		250	250	250			1050	
	理	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰ	外	英, 独, 仏, 中 から1												
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1															
[5教科7科目]																

## 1. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」についての注意事項

- 「地理歴史, 公民」について, 2科目を受験したときは, 第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については, 以下のとおり利用します。  
英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。  
リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。  
なお, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

## 2. 「個別学力検査等」についての注意事項

- 「数学」について
  - 個別学力検査実施科目  
「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」, 「数学C」の6科目を併せて「数学」として出題します。  
[選択分野及び出題範囲に対する注意]
    - 「数学Ⅱ」の「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととし, 立体の体積も含まれます。
    - 「数学B」では「数列」「ベクトル」「数値計算とコンピュータ」の3分野を出題範囲とします。ただし, 「ベクトル」は直線・平面の方程式を含むものとし, 「数値計算とコンピュータ」はプログラミングを除きます。
    - 「数学C」では「行列とその応用」「式と曲線」「確率分布」の3分野を出題範囲とします。ただし, 「確率分布」は「確率の計算」のみを範囲とします。
    - 「数学Ⅲ」は, 簡単な微分方程式及び曲線の長さを含みます。
  - 補足説明
    - 教科書において「発展」等として扱われている内容であっても, 指導要領の趣旨を踏まえて高等学校の生徒が論理的に思考して理解できる程度の内容は, 出題範囲とします。
    - 上記①の発展的内容, 「数学Ⅱ」の微分・積分で出題範囲とする一般の多項式や体積の内容, 「数学Ⅲ」で出題範囲とする微分方程式と曲線の長さの内容, 及び「数学B」のベクトルで出題範囲とする直線・平面の方程式の内容に関しては, 旧指導要領及び過去の指導要領(昭和57年度から平成5年度)の内容が目安となります。

## 2. 「理科」について

(1) 物理: 「物理Ⅰ」と「物理Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「物理Ⅱ」の第3部後半(原子・電子と物質)と第4部(原子構造と原子核・素粒子)において扱われている現代物理の諸項目については、現代物理の個々の事象の単なる知識を問う出題はしませんが、それらの事象を素材にして物理の基本的法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

(2) 化学: 「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「化学Ⅱ」の第2部(生活と物質)と第3部(生命と物質)において扱われている諸項目については、単に知識を問う出題はしませんが、それらを素材にして化学の基本法則や考え方を問うことはあり得ます。従って、前記の選択項目の一つを学習しなかった受験者に対しても、選択方法による不利が生じないよう出題方法などに配慮します。

(3) 生物: 「生物Ⅰ」と「生物Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「生物Ⅱ」で扱われている内容については、出題の素材として用いることはありますが、単に知識を問うのではなく、基本的概念の理解や、生物学特有のものものの見方、考え方を問うような出題をします。

(4) 地学: 「地学Ⅰ」と「地学Ⅱ」を併せた範囲から出題します。

「地学Ⅱ」で扱われている内容については、単に知識を問う出題はしませんが、それらを素材にして地学特有のものものの見方、考え方を問うような出題はあり得ます。

## 3. 「外国語」について

英語は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラルコミュニケーションⅠ」、「オーラルコミュニケーションⅡ」、「リーディング」、「ライティング」の6科目を併せて「英語」として出題します。

## 4. 2段階選抜について

農学部全体の志願者が農学部募集人員の約3.5倍を上回った場合、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点(ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)の合計により、農学部全体の志願者で第1段階選抜を行うことがあります。

## 5. その他

第1～第3志望まで学科を選択することができます。